

サンプリング報告書

令和 6 年 11 月 26 日

高槻市長 様

下記の内容でサンプルの採取を行いましたことをご報告致します。

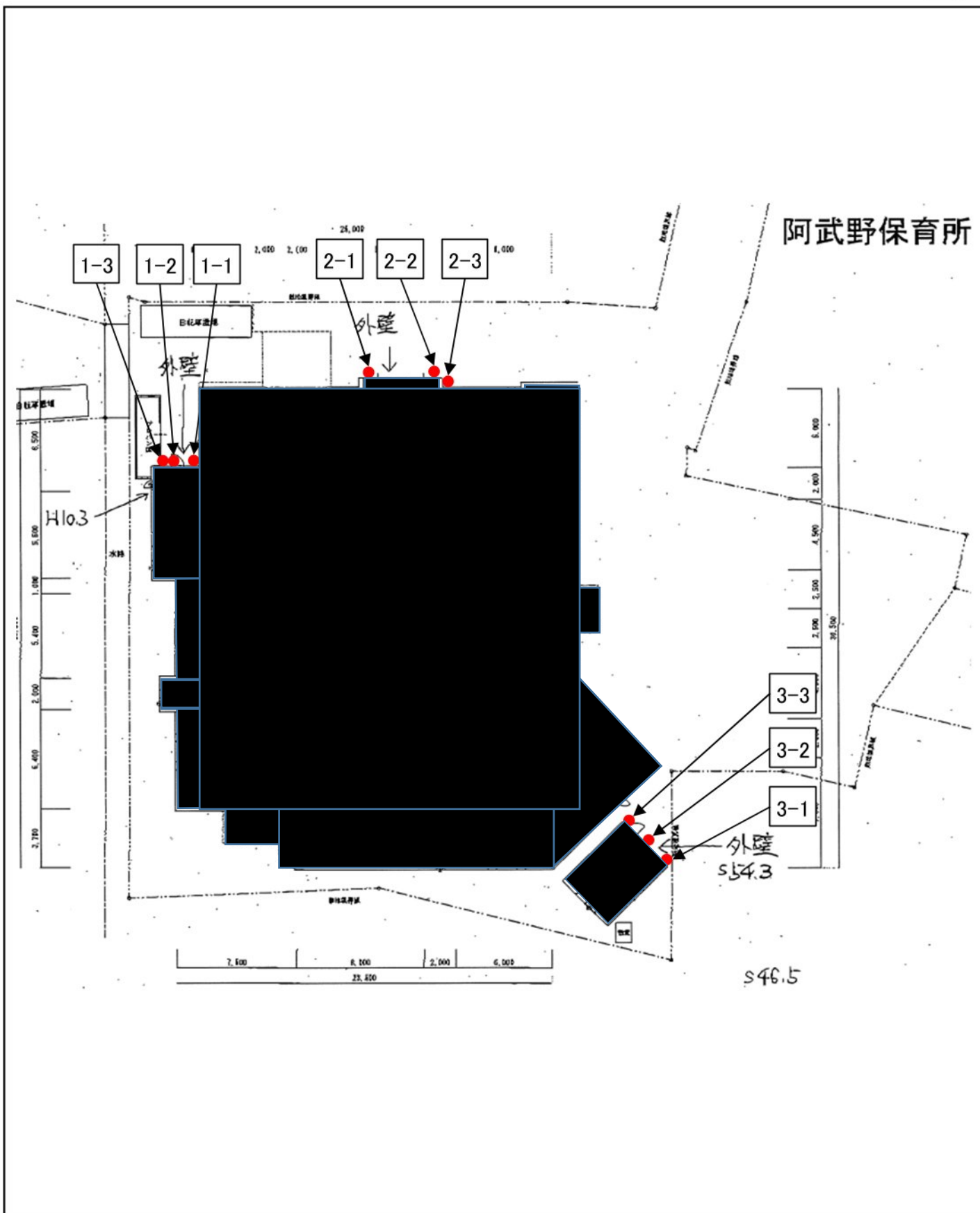
記

1. 採取年月日 : 令和 6 年 7 月 23 日

2. 採取場所 : 阿武野保育所

3. 採取者 :

以上



[記号] ● … 試料採取箇所



試料No.1
(採取前)
外壁 仕上塗材①



試料No.1
(採取後)
外壁 仕上塗材①



試料No.1
(採取前)
外壁 仕上塗材①



試料No.1
(採取後)
外壁 仕上塗材①



試料No.1
(採取前)
外壁 仕上塗材①



試料No.1
(採取後)
外壁 仕上塗材①



試料No.2
(採取前)
外壁 仕上塗材②



試料No.2
(採取後)
外壁 仕上塗材②



試料No.2
(採取前)
外壁 仕上塗材②



試料No.2
(採取後)
外壁 仕上塗材②



試料No.2
(採取前)
外壁 仕上塗材②



試料No.2
(採取後)
外壁 仕上塗材②



試料No.3
(採取前)
外壁 仕上塗材③



試料No.3
(採取後)
外壁 仕上塗材③



試料No.3
(採取前)
外壁 仕上塗材③



試料No.3
(採取後)
外壁 仕上塗材③



試料No.3
(採取前)
外壁 仕上塗材③



試料No.3
(採取後)
外壁 仕上塗材③

分析試験結果報告書

高槻市長 様

貴依頼による石綿分析の結果は、以下に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

件名	高槻市立保育所等吹付け仕上塗材調査業務（阿武野保育所）
分析実施日	令和6年10月18日～令和6年10月24日
分析内容	石綿含有率分析
分析方法	分析マニュアル第3章. 定性分析方法1（偏光顕微鏡法）による定性分析方法 分析マニュアル第5章. 定量分析方法1（X線回折分析法）による定量分析方法
分析実施者	

分析結果

試料No.	試料名称	定性分析結果		定量分析結果
		石綿含有の有無	石綿の種類	石綿含有率（%）
1	外壁 仕上塗材①	有・無	—	—
2	外壁 仕上塗材②	有・無	Chr	0.3
3	外壁 仕上塗材③	有・無	—	—

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr：クリソタイル Amo：アモサイト Cro：クロシドライト

Tre/Act：トレモライト/アクチノライト Ant：アンソフィライト

【分析マニュアル第3章. 定性分析方法1(偏光顕微鏡法)による定性分析方法】

【試料採取履歴】

試料名称	外壁 仕上塗材①		
採取年月日	令和6年7月23日		
建材名称	仕上塗材		
建物名称	阿武野保育所	用途	保育所
試料採取場所	調理室 東側外部	試料採取部位	外壁
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
試料の概要	形状又は材質	粉状	
	試料の大きさ	約100cm ²	
	採取方法	削り取り	
採取箇所等の指示(判断)者の所属、氏名、資格	高槻市こども未来部 保育幼稚園総務課 様		
採取者の所属、氏名、資格	特定建築物石綿含有建材調査者)		

【観察検体の詳細】

部位	色	割合	石綿含有の有無	石綿の種類	推定質量分率(%)
部位1	白	5	無	—	無検出
部位2	白	15	無	—	無検出
部位3	白	65	無	—	無検出
部位4	グレー	15	無	—	無検出

【分析マニュアル第3章. 定性分析方法1(偏光顕微鏡法)による定性分析方法】

【試料採取履歴】

試料名称	外壁 仕上塗材②		
採取年月日	令和6年7月23日		
建材名称	仕上塗材		
建物名称	阿武野保育所	用途	保育所
試料採取場所	事務室 東側外部	試料採取部位	外壁
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
試料の概要	形状又は材質	粉状	
	試料の大きさ	約100cm ²	
	採取方法	削り取り	
採取箇所等の指示(判断)者の所属、氏名、資格	高槻市こども未来部 保育幼稚園総務課 様		
採取者の所属、氏名、資格	(特定建築物石綿含有建材調査者)		

【観察検体の詳細】

部位	色	割合	石綿含有の有無	石綿の種類	推定質量分率(%)
部位1	白	5	無	—	無検出
部位2	白	30	無	—	無検出
部位3	白	25	無	—	無検出
部位4	グレー	20	有	クリソタイル	0.1-5
部位5	グレー/茶	20	無	—	無検出

【観察検体写真】



【検出された石綿繊維の偏光顕微鏡による観察写真】

部位	530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける写真	分散顕微鏡法で鋭敏色を確認した写真
部位4		

【分析マニュアル第3章. 定性分析方法1(偏光顕微鏡法)による定性分析方法】

【試料採取履歴】

試料名称	外壁 仕上塗材③		
採取年月日	令和6年7月23日		
建材名称	仕上塗材		
建物名称	阿武野保育所	用途	保育所
試料採取場所	休憩室 南側外部	試料採取部位	外壁
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
試料の概要	形状又は材質	粉状	
	試料の大きさ	約100cm ²	
	採取方法	削り取り	
採取箇所等の指示(判断)者の所属、氏名、資格	高槻市こども未来部 保育幼稚園総務課 様		
採取者の所属、氏名、資格	(特定建築物石綿含有建材調査者)		

【観察検体の詳細】

部位	色	割合	石綿含有の有無	石綿の種類	推定質量分率(%)
部位1	白	20	無	—	無検出
部位2	ベージュ	40	無	—	無検出
部位3	グレー	40	無	—	無検出

【分析マニュアル第3章. 定性分析方法1（偏光顕微鏡法）による定性分析方法】

実体顕微鏡を用いて検体全体の観察を行い、繊維状物質をスライドガラス上にピックアップする。スライドガラス上の試料に屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550, 1.605, 1.620, 1.640, 1.680, 1.700$ の6種類の浸液から適宜選択し、滴下しカバーガラスを載せて標本とする。作製した標本を偏光顕微鏡により形態、色・多色性、複屈折率、消光特性、伸長の符号、屈折率などを観察する。

上記方法で観察を行った結果石綿繊維を確認できなかった場合、燃焼や酸処理など試料に適した方法で妨害物質を除去した後、6枚以上の標本を再度作製し観察する。この観察において、石綿繊維が確認できない試料については「不検出」とする。

【分析マニュアル第5章. 定量分析方法1（X線回折分析法）による定量分析方法】

〈試料調整〉

試料を粗粉碎し磁性ろつばに適量入れ、電気炉にて 450°C で1時間加熱する。

加熱後、デシケーターにて放冷する。放冷後、乳鉢にて粉碎を行い $425\ \mu\text{m}$ のふるいを通してふるい分けする。すべての試料がふるい下になるまで粉碎及びふるい分けの操作を繰り返す。

〈定量分析〉

上記で調整した試料を 100mg 秤量し、コニカルビーカーに入れ、20%ギ酸 20mL および水 40mL を加え、超音波洗浄機を用いて1分間分散する。 30°C に設定した恒温槽中に入れ、12分間振蕩する。吸引ろ過装置を用いてフィルター上に捕集する。捕集したフィルターをX線回折装置によりX線回折強度を測定し、基底標準吸収補正法により石綿含有量を算出する。